

製品名: リン酸化パルビン α (Ser8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84872

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 42 kDa; Observed MW: 42 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-Parvin alpha (Ser8)
別名	MXRA2; CH-ILKBP
遺伝子 ID	55742.0
SwissProt ID	Q9NVD7
免疫原	ヒトパルビン α の Ser8 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

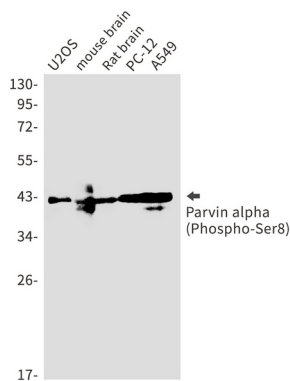
サルコメアの組織化および平滑筋細胞の収縮に関与する。胎児心血管系の正常な発達、および心臓流出路の正常な隔壁形成に必要で

ある。血管新生の芽生えに関与し、血管発達における血管平滑筋細胞の内皮細胞への正常な接着に必要である。アクチン細胞骨格の再編成、ラメリポディアの形成、繊毛形成に関与する。細胞極性、細胞接着、細胞伸展、および方向性のある細胞移動の確立に関与する。

研究分野

-

画像データ



リン酸化パルビン アルファ (Ser8) 抗体を使用した、U2OS、マウス脳、ラット脳、PC-12、A549 溶解物中のパルビン アルファ (リン酸化 Ser8) のウエスタン ブロット分析。